川崎医科大学附属病院

きずな。

2023/3
VOL. 234

眼瞼下垂専門外来のご案内

眼瞼下垂は、上眼瞼の瞼縁に存在する腱板といわれる硬い支持組織に付着している上眼瞼挙筋の腱膜が緩んだり、はずれたりすることで生じる変性疾患です。高齢者に多いことが特徴のひとつであり、瞼裂幅の狭小化に伴い、頭位を後方へ維持する姿勢になりやすく、そのため肩こりや頭痛を併発することがよくあります。治療は、瞼板からはずれた挙筋腱膜を解剖学的位置に戻すことで、自然な開瞼を回復することができます。この方法を「腱膜固定術」といい、局所麻酔を用いて片眼20分程度で行える手術です。

一方で、先天的な眼瞼下垂は、若年者に多く、上眼瞼挙筋の変性が強い症例においては腱膜固定術では十分な開瞼機能を獲得することができません。その場合は、大腿部から採取した筋膜を使用し、前頭筋の動きを利用して開瞼する機能を獲得する方法を用います。この方法は「筋膜移植術」といわれ、挙筋機能が廃絶した重症例に用いられます。成人の場合は、局所麻酔で行うことが可能で片眼40分程度、小児の場合は麻酔法が全身麻酔になります。

このように、眼瞼下垂の治療は病態によって術式を選択し、充分な開瞼の再獲得を目指して行っています。

※　木曜日の午前中に外来診療を行っております。

形成外科・美容外科
部長　山下　修二

医師の動き

＜退職医師＞		
宇野 昌明	（うの まさあき）	部長
柏原 直樹	（かしはら なおき）	部長
楠　裕明	（くすのき ひろあき）	部長
砂田 芳秀	（すなだ よしひで）	部長
種本 和雄	（たねもと かずお）	部長
通山 薫	（とおやま かおる）	部長
中村 隆文	（なかむら たかふみ）	部長
山口 佳之	（やまぐち よしゆき）	部長
窪田 寿子	（くぼた ひさこ）	医長
＜川崎医科大学総合医療センターへ移籍＞		
辰巳 文則	（たつみ ふみのり）	医長

オンライン予約 受付中❣
対象診療科（先行10診療科から2023年度には拡大予定）
循環器内科／腎臓内科／泌尿器科／脳神経内科／産婦人科／乳腺甲状腺外科／消化器内科／耳鼻咽喉・頭頸部外科／整形外科／放射線科（診断）
対象検査
CT、MRI

川崎医科大学附属病院　地域医療連携室
〒701-0192　倉敷市松島577
TEL ：086-464-1567
FAX ：086-464-1166
MAIL：renkei@med.kawasaki-m.ac.jp